

平成22年7月27日

日本一なが～い列車に専用行先標がお目見え！

JR釧路支社では、現在「日本一長い距離を走る定期普通列車」として、根室本線の滝川～釧路間（308.4km）を運転している2429Dに、定期普通列車では日本初となる「フレーズ入りの側面行先標（通称：サボ）」を8月1日（日）より掲出します！

- 1 期 間 平成22年8月1日（日）より通年
- 2 列 車 2429D（滝川9：37発～釧路17：39着）
※滝川～富良野間は1両運転、富良野～釧路間は2両運転です。

- 3 掲出する
行先標（サボ）



- 4 サボとは
- 列車やバスに掲出される「行き先」や「運転区間」などを表示した標識のことで、サボは「サイドボード」の略です。正式には「側面行先標」と言います。
 - このたび掲出となります2429D（キハ40形車両）には列車の側面両側の中央に掲出します。

このプレスリリースに関するお問い合わせ：JR釧路支社 営業企画グループ 集協
TEL：0154-24-1235（平日9：30～17：30）